

令和元年度における計画の進捗状況等の報告

1. 第2次佐世保市環境教育等推進行動計画に基づく事業の進捗状況

本計画では“環境市民”を育成し「自然と共々生きるまち させぼ」の実現に向け「環境教育プログラムの実施」「地域における環境教育の充実」「学校等における環境教育の充実」の3つの柱を中心として事業を推進しています。

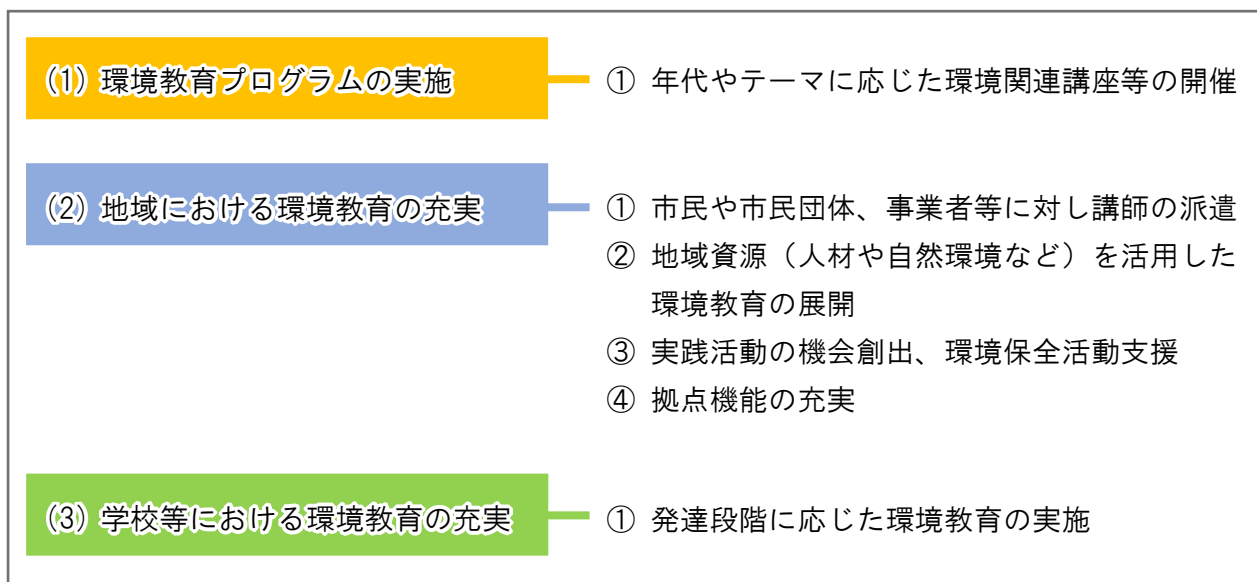


図1 具体的な施策展開

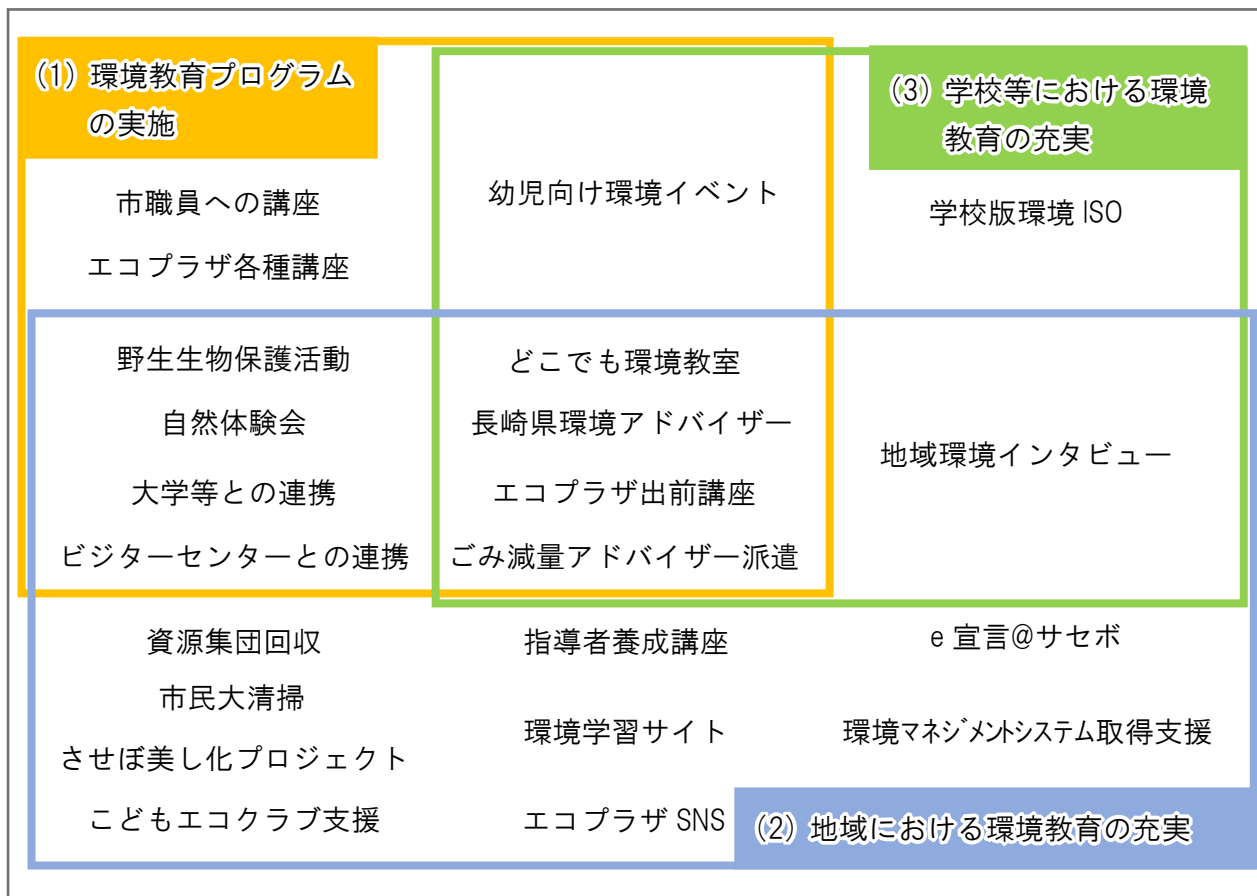


図2 各施策に関連する主な取組（イメージ）

資料 1 令和元年度における計画の進捗状況等の報告

(1) 自然と遊ぼう（海辺の生物観察会）

日 時	令和元年6月16日（日）13:00～15:00
場 所	白浜海水浴場駐車場及び近くの干潟
参 加 者	15名（大人7名、子ども8名）
講 師	川内野 善治 氏（ふるさと自然の会会長）
概 要	海浜植物や干潟に生息する生物の観察 (1) 干潟での生き物の捕獲及び観察（1時間程度） (2) 駐車場付近の海浜植物等の観察（30分程度）
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ● 本市には、全国的にも希少な生きものが多く生息・生育していることや、開発行為、地球温暖化などの影響で、生育場所に変化があると生きられなくなってしまう種の存在などについても学ぶことができ、参加者が環境について考えるきっかけになりました。 ● 子どもたちは、講師へ積極的に質問しており、関心の高さがうかがえました。また、保護者の方も楽しみながら、身近な自然に触れることで、自然の豊かさや大切さを再確認してもらえたのではないかと思います。 ● アンケート結果から、参加者には好評であったと感じられます。
写 真	   

(2) 幼児向け環境教育プログラム体験会

日 時	令和元年9月8日(日) 9:00~12:00
場 所	九十九島ビジターセンター及びその周辺
参 加 者	14名
講 師	衣川 圭太 氏 (プロジェクトワイルド長崎県 代表)
概 要	<p>市内の幼稚園教諭及び保育士に、幼児向け環境教育プログラムを体験してもらい、幼児向けの環境教育を知ってもらう機会とする。</p> <p>(1) アイスブレイク (2) 屋外での活動 (3) おにごっこしながら環境教育 (4) 製作時間に使える環境教育 (5) 講演「主体的な活動へ」</p>
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ● 佐世保市立幼稚園協会・佐世保市保育会の協力を得て、広報を行いました。両会長とも非常に協力的であり、今後も関係をより深くしていけるよう働きかけをしていくことが重要です。また、山口委員、古川委員につきましても、広報の協力をいただきました。 ● 通常の教育・保育の中で簡単に実施可能なプログラムを体験していただき、幼児向けの環境教育を知っていただけたと思います。 ● アンケートでは、好意的な意見が多く、各園で実施したいといった意見も見られましたが、年少児には少し難しい面もあるとのご意見もいただきました。
写 真	

資料 1 令和元年度における計画の進捗状況等の報告

(3) ニッポンバラタナゴ観察会

日 時	令和元年9月28日(土) 10:00~11:00	
場 所	非公開	
参 加 者	25名(大人12名、子ども13名)	
講 師	環境政策課 職員	
概 要	ニッポンバラタナゴに対する保全・意識向上を目的に、タナゴの生息する農業用水路を管理している土地改良区の方々と共同で、調査活動と地元の子どものために観察会を開催するもの。	
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ● ニッポンバラタナゴは、大阪、香川、九州北部のみに生息しており、長崎県で繁殖が確認されているのは、佐世保市の一部に限られた地域のみです。 ● ニッポンバラタナゴの生活や生息状況について説明し、個体数推定調査、観察を子どもたちと一緒にやり、希少種保護の意識の醸成を図ることができました。 	
写 真		

(4) 街あるき温暖化教室

日 時	令和元年 10 月 5 日 (土) 10:00~11:30
場 所	下本山公民館 ~ 四反田遺跡 ~ 下本山岩陰遺跡
参 加 者	34 名 (大人 21 名、子ども 13 名)
講 師	久村 貞男 氏 (佐世保地区連合史跡保全会 会長)
概 要	<p>身近な地域の散策・講義を通じて、将来の地球温暖化の影響やその対策への理解や関心を高めるため開催するもの。</p> <p>(1) 遺跡を散策し、気候変動と生活・文化への影響について講師の解説</p> <p>(2) 下本山公民館で、地球温暖化対策について座学講座</p>
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回は、中里皆瀬地区自治協議会の協力を得て参加者を募りました。 ● 気候変動を経た縄文時代等の遺跡を、専門家と一緒に散策し、当時の生活変化を実感、さらに現在進行している地球温暖化や、私たちが地球温暖化防止に取り組めることを紹介しました。 ● アンケート結果等では、大人の参加者には概ね好評でありましたが、子どもからは内容が難しいとの声がありました。 ● しかし、子どもたちに対しても、地域の遺跡を散策し貝殻等を触るなどの「体験」を通じて記憶に残るイベントとすることはできたと考えています。
写 真	   

資料 1 令和元年度における計画の進捗状況等の報告

(5) 職員研修「自然環境保全と公共工事」

日 時	令和元年 10 月 22 日 (金) 14:00~16:00
場 所	長崎鹿町ウィンドファーム敷地内
参 加 者	19 名
講 師	川内野 善治 氏 (ふるさと自然の会 会長)
概 要	散策しながら生育している植物の観察を行い、講師に解説を行ってもらう。 公共工事の自然環境への配慮について実例を紹介しながら説明。
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回の研修を通じて、これらの豊かな自然と共存し、持続可能な街づくりを進めていくため、職員一人ひとりが、生態系や希少野生生物の重要性について認識を深め、より環境に配慮した実効性のある取り組みへと結び付けていきます。 ● 実施後のアンケートでは、好意的な意見・要望が多く、更に掘り下げた内容を要望される意見もありました。
写 真	

(6) 長崎短期大学「地域連携（佐世保学）講座」

日 時	令和元年10月30日（水）、11月7日（木）9:10～12:20
場 所	長崎短期大学 体育館及びその周辺
参 加 者	91名（保育学科1年生）
講 師	衣川 圭太 氏（プロジェクトワイルド長崎県 代表）
概 要	<p>将来保育者として活躍する学生を対象として、幼児向け環境教育を知ってもらう機会として開催するもの。</p> <p>(1) 佐世保市の環境教育の現状説明 (2) 幼児向けの環境教育プログラム体験</p>
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ● 座学ではなく、体験を中心に講座を行うことで、学生の興味を引き出し、自ら積極的に参加してもらえたと感じました。 ● 今後、学生が保育現場へ実習へ行く際に、環境教育の視点を取り入れた活動を期待でき、さらに、将来保育所等へ就職した際にも、実践してもらうことで、感受性豊かな幼児期からの環境教育を推進できるきっかけづくりができました。
写 真	

資料 1 令和元年度における計画の進捗状況等の報告

(7) うみかぜ広場ガイドウォーク (短大ゼミ生対象)

日 時	令和元年 11 月 22 日 (金) 14:00~16:00
場 所	九十九島ビジターセンター ~ うみかぜ広場
参 加 者	12 名 (長崎短期大学 澤田ゼミ)
講 師	山口 朗子 氏 (九十九島ビジターセンター 九十九島調査室 調査員)
概 要	ビジターセンターからうみかぜ広場まで散策しながら九十九島に生育している植物の観察を行い、生きものを発見した場合は、その都度、講師に解説を行う。
開 催 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回は、ビジターセンターと短大、環境部が連携し開催することができ、3者の連携を継続する基盤を作れました。 ● 学生自らが自然に触れ、参加した子どもたちに、自然体験の楽しさや面白さを伝える手法を学んだ場でありました。 ● これから、幼稚園や保育所等の場で働くことになる学生たちが、先生として働き始め、戸外活動において、本イベントで学んだ視点を持ってもらえれば、ただの散歩が小さな自然観察会 (体感) となる可能性もあると考えられます。
写 真	

(8) どこでも環境教室（令和2年1月末日現在）

No.	実施日	依頼者	内容	人数			場所	講師
				子ども	大人	合計		
1	R1.7.9 (火)	柚木小学校	プロジェクトワイルド	16	-	16	西光寺及び その周辺	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド*長崎県)
2	R1.7.11 (木)	江迎小学校	自然と環境問題について考えよう	27	2	29	嘉例川(江迎 小学校横)	環境保全課 職員
3	R1.7.16 (火)	天神小学校	プロジェクトワイルド	63	-	63	天神山公園	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド*長崎県)
4	R1.8.7 (水)	広田児童センター	レッツネイチャースクール	6	3	9	金田川(碧水 橋付近)	環境政策課 職員
5	R1.8.8 (木)	江迎っ子クラブ	水質調査	43	4	47	嘉例川	環境保全課 職員
6	R1.8.22 (木)	マミ-学童クラブ	地球温暖化	46	6	52	マミー学童ク ラブ	環境政策課 職員
7	R1.9.10 (火)	鹿町小学校	川調べの事前学習	17	2	19	鹿町小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド*長崎県)
8	R1.9.12 (木)	三川内小学校	総合的な学習の時間「三川内の川に行こう」	26	2	28	小森川(今福 橋付近)	川内野 善治 (ふるさと自然の会)
9	R1.9.19 (木)	鹿町小学校	川調べ	17	2	19	鹿町川	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド*長崎県)
10	R1.10.1 (火)	黒髪小学校	日宇川を調べよう	84	5	89	日宇川(黒髪 小学校横)	環境保全課 職員 環境政策課 職員
11	R1.10.1 (火)	柚木小学校	プロジェクトワイルド	16	-	16	相浦川(元触 橋付近)	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド*長崎県)
12	R1.10.28 (月)	江上小学校	地球温暖化	49	2	51	江上小学校	環境政策課 職員
13	R1.11.28 (木)	大野小学校	学校開放デー ※ 県アドで計上	-	-	-	大野小学校	環境政策課 職員
14	R1.12.20 (金)	日野小学校	総合学習「ごみダイ エット大作戦」	98	3	101	日野小学校	田口 昭子 (元気やさい雅)
合 計				508	31	539		

資料1 令和元年度における計画の進捗状況等の報告

(9) 長崎県環境アドバイザー（令和2年1月末日現在）

No.	実施日	依頼者	内容	人数			場所	講師
				子ども	大人	合計		
1	R1.5.11 (土)	黒島 de 遊び 隊	野草・薬草講座	-	15	15	黒島地区公民 館	宮崎 勉 (長崎県生物学会)
2	R1.5.24 (金)	花高幼稚園	いのちをいただく (給食について)	-	70	70	花高幼稚園	吉田 利道 (大地といのちの会)
3	R1.6.4 (火)	天神小学校	木育(積み木)	63	-	63	天神小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド長崎県)
4	R1.6.17 (月)	柚木小学校	木育(積み木)	16	-	16	柚木小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド長崎県)
5	R1.6.23 (日)	吉井町環境を 考える会	楽しい野菜作りと食 育、エコクッキング	-	200	200	ソレイユ吉井	吉田 俊道 (大地といのちの会)
6	R1.6.27 (木)	日野小学校	ごみの減量について 考えよう	101	-	101	日野小学校	田口 昭子 (生ごみ減量化リター-ネット ワークながさき)
7	R1.7.10 (水)	港小学校	港っ子エコ大作戦 ごみをへらそう	51	-	51	港小学校	谷口 雅樹 (生ごみ減量化リター-ネット ワークながさき)
8	R1.8.19 (月)	こばと学童クラ ブ	水生生物調査	42	6	48	金田川	川内野 善治 (ふるさと自然の会)
9	R1.8.20 (火)	マミー学童クラ ブ	川の生きものを知る	39	6	45	マミー学童クラブ	中原 康彦 (環境カウンセラー)
10	R1.11.12 (火)	長崎県農業協 同組合	SDGs について	-	172	172	九十九島ペイ サイドホテル	松嶋 範行 (長崎県地球温暖化防 止活動推進センター)
11	R1.9.8 (日)	あそび探検クラ ブミッケ	見上げてみよう広田 の星空・天体観望会	19	8	27	広田公園	松本 直弥 (長崎県天文学協会)
12	R1.9.30 (月)	日野小学校	総合的な学習	100	-	100	日野小学校	谷口 雅樹 (生ごみ減量化リター-ネット ワークながさき会員)
13	R1.9.17 (火)	柚木小学校	川活動	16	-	16	柚木小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド長崎県)
14	R1.11.28 (木)	大野小学校	学校開放デー	33	1	34	大野小学校	衣川 圭太 (プロジェクトワイルド長崎県)
15	R1.11.1 (金)	自主保育どん ぐり	生ゴミを使つての土作 りとお腹の健康を守る	6	7	13	職員宅	吉田 俊道 (大地といのちの会)
合 計				486	485	971		

2. 課題に対する進捗状況

第2次佐世保市環境教育等推進行動計画では前計画における課題を解決する取り組みを行うこととしています。

ここでは、前計画の課題及び以前の協議会で意見をいただいた取組状況について報告します。

(1) 前計画の課題への取組状況

No.	課題	取組状況	今後の予定
1	● させぼエコプラザの体制整備	● エコプラザでの職員を増やし、各職員がそれぞれが講座を実施できるよう体制を整えている。	● 今後も、市民の要望に応えられる体制を整えていく。
2	● 指導者の育成	● 幼稚園教諭、保育士への体験会の実施 ● 長崎短大保育学科の学生への講座の実施	● 引き続き、体験会や講座を実施していく。
3	● 大学生などの若者世代が参加できるような仕組みづくり	● 長崎短期大学との連携事業や、地球温暖化防止活動推進委員を長崎県立大学の学生を委嘱するなど、学生が主体となって行動してもらうような事業を行っている。	● 引き続き、大学生を取り込めるような事業を行っていく。 ● 高校生への働きかけについても検討していく。
4	● 環境に関する情報の発信	● 市ホームページで環境関連イベント情報、Twitter（ダストン君）で環境に関するツイートを実施。 ● エコプラザ Facebook でイベント情報の発信。	● 引き続き、情報を発信していく。
5	● 佐世保環境アドバイザー、環境保全活動団体登録数が少ない	● 昨年度から数が増加していない状況。	● 各団体へ直接訪問するなど、働きかけを強化する。

資料 1 令和元年度における計画の進捗状況等の報告

(2) 協議会でいただいた意見の取組状況

No.	いただいた意見	取組状況	今後の予定
1	● 出前講座等を校長研修会で紹介することで活用する学校は増加するのではないか。	● 令和2年1月の校長研修会で説明を行った。	● 今後も、定期的に事業の紹介を行っていく。
2	● エコプラザへの来館者があまりいないように感じる。エコプラザに来てもらうことで、環境活動を広めることができると思う。	● 今年度は、テレビ佐世保で環境に関する啓発に併せて、エコプラザの紹介も行った。	● 今後も、市民へエコプラザを知ってもらえるよう広報活動を行っていく。
3	● 環境学習サイト「eカンキョウ@サセボ」へアクセスしてもらう仕掛けが必要である。	● 佐世保の環境について、最新の情報に更新している。	● 今後、本サイトの見直しを含め、見せ方を検討していく。
4	● 環境保全活動団体登録を行っている団体に対して、環境に対する正しい知識を持ってもらうための講座等の機会を設けてほしい。	● 現状では、団体に対する講座等は開催できていない。	● 今後、講座等を行える体制を整備していく。
5	● 環境に関する人の認定制度の創設	● 現在、個人に対しては、「佐世保環境アドバイザー」としての登録、小中学校に対しては、「学校版環境ISO」、事業者に対しては「e宣言@サセボ」認証制度を運用している。	● 今後、新たな制度の対象者や設定方法等を研究しながら検討を行っていく。
6	● 市内の企業への働きかけ	● 「e宣言@サセボ」認証制度、「エコアクション21」認証取得支援を行っている。	● 今後、させぼエコプラザを中心として、企業との連携強化の取組について検討していく。